

セラミックス岡山

CERAMICS OKAYAMA

2013. 5

巻頭言

一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団
理事長 岡本章正

平素は格別の御高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、岡山セラミックスセンターを運営いたします当財団は、新法人制度に基づき、県から認可を受け平成25年4月1日付けで一般財団法人岡山セラミックス技術振興財団（非営利型）に移行しました。

活動内容は、これまで同様耐火物を中心とした研究開発、測定分析、人材育成などに取り組んでまいりますが、これを機に活動の充実を図り関連産業の振興に貢献してまいり所存であります。

私こと、従前は専務理事の職にありましたが、移行と共に理事長の職を担うこととなりました。元より浅学非才でございますので、関係の皆様方におかれましては、今後とも従来にも増して御指導、御鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

巻頭言	1
所長就任挨拶	1
研究紹介	2
Al ₂ SiC ₂ -C系材質の緻密化と特性評価	
耐火物工学基礎講座	4
MgOおよびMgO-C系	
設置機器紹介	6
熱重量示差熱分析装置 (TG-DTA)	
行事案内	7
ニューフェイス紹介	8



就任ご挨拶

研究所所長・理事
高長茂幸

4月から、岡山セラミックスセンターの研究所長として着任いたしました。

岡山県備前地域は、日本の耐火物の三分の一を生産している耐火物関連企業集積地です。耐火物は鉄鋼、セメント、ガラスなどの基幹素材産業にとって必須の材料であり、極めて重要な役割を担っています。これらの素材産業は、半世紀前に始まった高度経済成長に合わせて、製造プロセスなどの技術革新が急速に進み、耐火物産業もその発展に大きく貢献してきました。その結果として、耐火物の使用環境が過酷化するにも拘わらず、耐用期間は延び、同時に耐火物生産量の減少という皮肉な結果も生み出しました。

しかし、耐火物は基幹産業を支える基本材料であり、それゆえに今後も耐火物技術の重要性は変わることはありません。

当財団はこの事情を鑑み、新規合成原料の探索と合成、自己修復などの高機能耐火物の開発、天然黒鉛代替え原料の開発などの研究開発とともに企業ニーズの高い受託研究を中心としたハード面からの支援や、技術者の育成や技術相談などのソフト面からの支援、両面からの支援を行っております。

今後とも、皆様方には当センターを積極的に御利用いただき、耐火物関連産業の発展を共にめざすことで、地域産業の活性化を図って参りますので、引き続き御指導、御鞭撻をいただきたくお願いいたします。

OKAYAMA ■■■■

CERAMICS ■■■■

CENTER ■■■■

岡山セラミックスセンター